

各地区業況アンケート結果（2022年8月調査分）

（2022年8月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、8月24日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ69名の回答があり（回答率48.9%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = $(A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 数量は伸びず前年比増加は2割

問1】貴社の7月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	7	7	24	14	16	68	74
比率	10%	10%	35%	21%	24%	DI-37	DI-9
売上金額/前年同月比	34	14	8	6	7	69	75
比率	49%	20%	12%	9%	10%	DI+90	DI+104

2. 黒字約7割強

問2】貴社の7月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	28	22	15	3	1	69	75
比率	41%	32%	22%	4%	1%	DI+106	DI+112

3. 全ての向け先で販売低調続く

問3】貴社の営業窓口から見て8月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	2	23	17	4	47	-45	-39
民間建設向		8	21	20	5	54	-41	-8
自動車向		3	14	11	3	31	-45	-37
その他需要家向		5	28	21	4	58	-41	-19
仲間取引		2	24	24	5	55	-58	-41
計	1	20	110	93	21	245	-46	-27
比率	0%	8%	45%	38%	9%			

4. 秋需に多少の期待感

問4】貴社における向う9月から11月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	3	28	25	8	4	68	75
比率	4%	41%	37%	12%	6%	DI+26	DI±0

5. コラム以外はD I 値マイナス、鋼板類は過剰気味傾向

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	品種別	A	B	C	D	E		8月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
3	-10	-3	-6	-15	-17	-10	-10	-10	-3	-12	-21	鉄筋用丸鋼		2	23	3		28	-4
25	14	11	6	-3	-7	-3	-14	-23	-7	-14	-23	構造用丸鋼			23	6		29	-21
21	6	6	6	-10	-9	-9	-10	-6	-11	-17	-19	平角鋼			29	5		34	-15
48	41	43	35	20	7	0	-10	-7	0	3	14	H形鋼		7	18	3		28	14
140	142	150	139	88	91	13	19	30	39	30	19	コラム		8	12	1		21	33
8	9	3	6	-11	-6	-15	-21	-11	-26	-30	-23	小形山形鋼			28	6		34	-18
9	9	8	3	-11	-6	-18	-21	-12	-22	-28	-32	中形山形鋼		1	26	8		35	-20
8	9	11	6	0	-6	-9	-9	-15	-19	-27	-18	溝形鋼		2	25	7		34	-15
73	68	65	34	19	0	0	-4	-10	-6	-15	-14	軽量形鋼C形			23	4		27	-15
63	33	39	27	-5	6	0	-6	0	0	-13	-12	軽量形鋼広巾			14	2		16	-13
158	123	110	79	45	24	3	-41	-39	-33	-61	-61	冷延薄板			14	13	3	30	-63
118	103	83	53	35	17	-17	-33	-20	-23	-44	-41	熱延薄板			19	13	1	33	-45
145	133	127	97	59	47	21	-24	-30	-26	-41	-34	表面処理鋼板		2	16	12	3	33	-48
164	126	109	80	47	15	-15	-27	-35	-31	-57	-64	酸洗鋼板			9	16	3	28	-79
114	100	76	43	30	10	-13	-18	-14	-9	-33	-37	中板			21	15	1	37	-46
95	90	83	67	53	26	-3	-5	-10	-23	-27	-35	厚板		1	24	9	3	37	-38
86	68	68	52	35	26	9	18	-6	-17	-6	-12	極厚板		2	12	2	1	17	-12
41	52	41	33	7	14	3	-7	-3	-13	-23	-21	縞板			23	4	1	28	-21
73	83	71	64	21	16	0	-3	-3	6	-3	-3	中径角			27	4		31	-13
58	58	32	38	23	6	-3	0	-14	-6	-6	-9	ガス管黒		1	27	5		33	-12
61	61	39	38	19	13	0	0	-9	-3	-6	-6	構造用鋼管			27	3		30	-10
72	64	55	43	21	12	-4	-12	-13	-13	-22	-23	計	0	26	440	141	16	623	-24

6. 需要は低調のまま推移、スクラップ価格下落で市況は不安定に

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	(丸棒)スクラップ価格の急落があり、市況は不安定。メーカー価格が若干下がったが大きく変わらない。顧客からの値下げ要請が強まってくると思われる。在庫がうたれないか心配である。
	B	大型案件は引き続き堅調。中小案件は少ない。
	C	7月は概ね例年の荷動きだった。土木が好調でなんとか数量を維持できた。中小建築が相変わらず少ない状況。
	D	大規模化し、輸入飼料に頼ってきたこの地区の酪農業は飼料の高騰により打撃を受けている。今後の投資にも急ブレーキがかかってくるのが予想される。今まで続いていた大型牛舎などの案件は今後期待できそうにない。
東北	A	地元案件が少ないものの、ファブの山積みは高く年内はどこも入らない状況。また、スクラップ価格下落から、特に鉄筋の見積りは極端に減少した。
	B	土木、需要家向けの需要については大きく膨らむことはないが、一定量の期待はできる。しかし、建築向けの動きが低調。
	C	スクラップ価格が下がり、鉄筋市況が下落傾向。

新潟	A	鉄スクラップが下がり続けているが、市況はぎりぎり維持できている。但し、現状は海外市況も含めて不安要素が強い。業種によっては部品未入荷により、在庫調整（生産調整）もある。
	B	スクラップ価格が下落している。一部の形鋼は値下げになるとのことで先行きの不透明感が漂う市況となっている。
	C	見積り減少により、価格転嫁の遅れが心配。
	D	自動車部品は徐々に増えてはいるが、いまだ正常時から25%程落ち込んでいる。SC・SCMはひも付き、店売りともに低調のまま推移し価格改定は9月にずれ込みそう。
	E	建設需要は首都圏を中心に旺盛だが、薄板は自動車や家電の部品不足の影響や中国の影響を受け需要不足で在庫過剰となっている。鋼材価格も薄板商品から値崩れ懸念があり、ここが正念場となる。
	F	建材系の需要は比較的順調も、部品調達難などの影響もあり、製造業関連は不透明な状況が続いている。価格面においては安価な輸入材や電炉と高炉の価格差が生じるなど難しい局面となっている。
東京	A	7月の売上金額は、前月比15%減、前年同月比20%減。単価上昇しての結果なので数量は惨めな数字であった。ここでトラック某メーカーの不正発覚で影響が更に深刻。架装、特装車の肝心なフレームの入着がなく、納期は後ろ倒しになるばかり。8月も我慢の月である。
	B	ここ数か月、需要は低迷したままである。荷動きは閑散としている。夏枯れ状態。母材値上げを製品に転嫁したいが、在庫も多くなかなか値上げ交渉が進まない。更に新型コロナ感染者が増えてきており、工場の生産に支障をきたす状況になってきた。
	C	ここ数ヶ月の需要低迷と外国材の流入により、販売単価が不透明になってきている。流通の中でも出荷促進のため特価が方々で乱発されており、市中相場が正直なところ見えてこない。
	D	（店売り）引合いも少なく、出荷量も減少傾向。（建設機械）ウクライナ問題があるが、向け地変更するなど高操業が続いている。
	E	各メーカーから値上がった材料が入荷してきている。メーカーの値上げ状況も高炉と電炉でも差があるため再販価格にも影響が及びそうで難しい局面である。
	F	主力取扱品である磨棒鋼はトラック関連部品の増産傾向に伴い回復気味に。コロナウィルスによる景気の低迷からの脱出に少々期待が持てる状況にある。
	G	荷動きは相変わらず低調。スクラップ価格の下落により買い控えも発生しているのではないかと。荷動きの悪化から価格転嫁は唱えのみ様子見。建築向けは継続的に動いていて好調。製造業向けも徐々に生産が戻ってきているため緩やかな回復を期待している。
	H	客先などでは、半導体などの輸入品不足が目立ち、受注はしているが、今後の生産ストップなど不安が残る。
	I	外材の安売りが目立ち市況に悪影響を及ぼしている。
	J	7月売上高、販売数量ともに前月を下回る結果となった。通年の景況感はなく、市況は弱含んでいる。秋口に向けて中小建設案件が復活するとの声を聴いたが、まだ届いていないようだ。
	K	主力取引品である磨き棒鋼はトラック関連製品の増加傾向に伴い回復気味に。新型コロナウィルスのよる景気低迷からの脱出に少々期待が持てる状況になりつつある。
静岡	A	資材高騰による出件延長、計画見直しの影響が徐々に広がっている。Mグレードでも年末以降の山積みは、それほど高くなく、直近の出件も補助金案件が主で民間は今ひとつ。荷動きの悪さ、スクラップ価格の動向から値上げに対するユーザーの拒否反応が強く対応に苦慮している。

静岡	B	情報がない状況。大手ファブの仕事量は良好。中小ファブ、一般的な市中の鉄工所はそれなりに稼働してる。業界紙の紙面内容に乏しさを感じる。業界の動きも鈍い。高炉、電炉ともメーカーはチグハグなアナウンスばかりである。8月盆休みを控えているとはいえ、まったくとしている。円安環境は確かGDPレートが向上する要因になると聞いている。盆休み明け（8月16日以降）、休暇前の際立った受注はゼロ。不良債権発生ゼロも継続中。
石川		物の流れが悪くなってきた。形鋼が特に目立つ。買値割れらしき様相が見える。薄板類にマーケットクレーム（品質、表面ハダ等）が目立つ。原因は出荷側よりも買い手の工場職人レベルがかなり落ちているのが原因。機械に頼りすぎで知識も修正能力もない。今に始まったことではないがJISも甘すぎる。公共工事は秋頃からしか期待できない。毎度のことで全く標準化が進んでいない。
富山		地元、都会向けとともに建築もその他も減少傾向。見積りは増加傾向（予算の大幅変更確認用の相見積もり）。ウィズコロナで回復機運も拡散過多の前では萎え気味である。
岐阜		無規鋼板が西の方から安くなってきた。早めに売りたいのかダブついて倉が一杯なのか。まだ値上げ遅れ分があるのに。秋口からの案件があると噂なので期待しているが、利率が下がっては面白くない。最前線の営業マンが競合先やサバ読みで値引きしていることが一番の大きな理由と思っているが、触れてはいけないのだろうか。
大阪	A	7月序盤頃から、仕事量が増え始めた。滞留していた景気回復のエネルギーがでてきたのならありがたい。しかし、コロナ関連で休まざるをえない人もいて、手薄の部署もあり、会社の運営面は苦心続きである。
	B	スクラップ価格の下落により、引合いは少なく、様子見状態が続いている。海外状況も見据え横ばいが続くと思われる。
	C	関西地区は製造業も建設業も低迷。半導体不足は解消されつつあるものの中国および東南アジアの経済停滞により、ハーネス、コネクタ、電子部品など部品不足が継続しており生産活動は停滞している。
兵庫		建築中小案件が少ない。加工は忙しいが小さな案件が多い。まとまった仕事は商社からの支給材が多い。
岡山		パツとしない。値上げが遅れている。数量が減って値上げが遅れれば利益は下がるのが当たり前。
北九州		輸入鋼材の事情も相まってメーカーの価格動向も品種によってバラバラになるであろうと思われる。慎重に仕入をしないといけない時期である。
福岡		需要は盛り上りに欠け低調のまま推移し、先行き不透明な状況が続いている。海外市況下落、スクラップ安、在庫の過剰な状態の他、与信不安を抱え環境は厳しさを増している。